福岡国際空港(FIAC)の取り組み

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

●空港内緑地の草刈における環境負荷低減に向けた取り組み

《通常の草刈りの流れ》

焼却処分

空港内の緑地は定期的に草刈を行い、刈った草はロール状にして運び出しています。

《焼却処分量を減らす取り組み》

【刈草の飼料化】

刈草の一部を、飼料として県内の牧場や農業高校に提供しています。
（刈草の焼却処分量を少なくすることでCO2の発生を抑制しています）

【自動草刈ロボットの活用】

ソーラーパネルで稼働する自動草刈ロボットも活用しています。
（草刈作業がオート化され、毎日稼働するため刈草が発生しません）

福岡国際空港（FIAC）では、航空機が安全に運航できるよう空港土木施設（滑走路、誘導路、エプロン、ターミナル周辺道路など）の点検や工事を行っています。
上記の刈草のほか、工事で発生する廃棄物（アスファルト殻など）のリサイクルに努めています。

福岡国際空港(FIAC)の取り組み

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

●ターミナルビルにおける環境負荷低減に向けた取り組み

【自然採光】

福岡市営地下鉄と直結する国内線旅客ターミナルビル地下2階アクセスホールは吹き抜け空間となっており、自然採光を取り入れることで昼間の照明利用を軽減しています。

【照明のLED化・センサーによる自動消灯】

館内照明は消費電力の少ないLED照明を採用し（国内線全域導入済み・国際線は順次導入中）、また光センサーと人感センサーを使用し、外部からの光が明るい時間帯や通行がない時には自動的に消灯しています。

【low-e複層ガラス】

国内線旅客ターミナルビル、国際線旅客ターミナルビル（一部）の窓ガラスは断熱性・遮熱性を高めた構造の複層ガラスを採用し、建物内の空調効率を高めています。

【壁面の緑化】

より環境に優しい空港を目指す一環として、国内線旅客ターミナルビルの壁面の緑化を行っています。

福岡国際空港(FIAC)の取り組み

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

●ターミナルビルにおける環境負荷低減に向けた取り組み

【太陽光発電】

国際線旅客ターミナルビルの屋根に太陽光パネルを設置し、同ターミナル内の照明・空調の電力源として余すことなく活用しています。

【ガスコージェネレーションシステムの利用】

国内・国際線旅客ターミナルビルにおいてガスコージェネレーションシステムを導入し、夏季昼間の電力ピークカットを行い、電気需要平準化に取り組んでいます。

【ターミナルビル別棟(オフィス棟)のLEED認証取得】

国内線ターミナルビル別棟(オフィス棟)はLEED認証（米国の環境に配慮した建築物の評価制度）を取得しています。

［主な特徴］
・トイレ洗浄水に排水の再生処理水を利用、また節水型トイレ器具を採用
・照明はすべてLED照明とし、光センサー・人感センサーにより照度を調整

福岡国際空港(FIAC)の取り組み

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

●ターミナルビルにおける省資源・資源循環に向けた取り組み

【中水・井戸水・雨水の活用】

手洗いやトイレからの排出水、および井戸水・雨水をターミナルビル内で浄化処理し、トイレの洗浄水として活用し、節水に取り組んでいます。

【節水型トイレの採用】

節水の一環として旅客ターミナルビルでは節水型トイレを採用しています。

【再利用素材の活用】

国内線旅客ターミナルビルにおいては、建築素材として再利用素材を積極的に導入、活用しています。

【管球リサイクル】

ターミナルビルで使用した管球のリサイクルを実施しています。

福岡国際空港(FIAC)の取り組み

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

●ＥＶ普通充電器の設置

福岡空港では、CO2を排出しない電気自動車（EV）の普及によるEV利用者へのサービス利便向上に向け、国内線立体駐車場9階、国際線立体駐車場1階にモバイルアプリから利用できる電気自動車向けの充電サービスを提供しています。ご利用にあたってはスマートフォン用アプリ「Terra Charge」の登録が必要です。

国内線立体駐車場EV普通充電器

国際線立体駐車場EV普通充電器

福岡国際空港(FIAC)の取り組み

FIAC
FUKUOKA INTERNATIONAL AIRPORT CO.,LTD.

●廃棄物のリサイクル

旅客ターミナルビル廃棄物の分別

① 一般ごみ(可燃)

② ビン・不燃

③ 缶類

④ 新聞・雑誌(古紙)

⑤ ペットボトル

リサイクル
資源ごみ

福岡国際空港（FIAC）では、缶類、新聞・雑誌（古紙）、ペットボトルの他、搬入時のダンボールなどのリサイクルに取り組んでいます。

お客さまの資源ごみ分別へのご協力により、2024年度は前年より３８ ﾄﾝ増の**年間９４３ﾄﾝ** をリサイクルしました。

今後も、３Ｒ（Reduce、Reuse、Recycle）活動の一環として、様々なリサイクルに取り組んで参ります。